



## 豪政府予算案は緊縮政策を緩和し、景気対策に重点置く

- 2015年度予算案は財政緊縮策が緩和され、中小企業対策や子育て支援、インフラ投資など景気対策に重点。
- 2015年度の財政収支計画は351億豪ドルの赤字となるも、赤字額は市場予想を下回る。
- 財政赤字は段階的に削減され、2019年度にも黒字化の計画。政府は中長期的な財政健全化方針は維持。
- 純債務残高は2016年度にはGDP比18.0%へ拡大するも、格下げが検討される目安水準(30%)は大きく下回る。

### 予算案は家計や中小企業向け景気対策に重点

豪州の連邦政府は5月12日、2015年度(2015年7月～2016年6月)の予算案を公表しました。支持率低迷を受けてアボット政権は緊縮財政政策を緩和し、中小企業対策や子育て支援策、インフラ投資などの景気対策に重点が置かれる予算案となりました。

- **【中小企業対策(55億豪ドル)】** 中小企業向け減税(50億豪ドル規模、豪州企業の96%が対象)など。
- **【子育て支援(44億豪ドル)】** 育児支援に5年間で35億豪ドル拠出、保育園プログラムに8.4億豪ドル投資など。
- **【インフラ開発・民営化】** 2019年度まで500億豪ドル規模のインフラ投資・民営化計画を継続。新規インフラ開発では豪州北部のインフラ投資(8億豪ドル)などを実施。

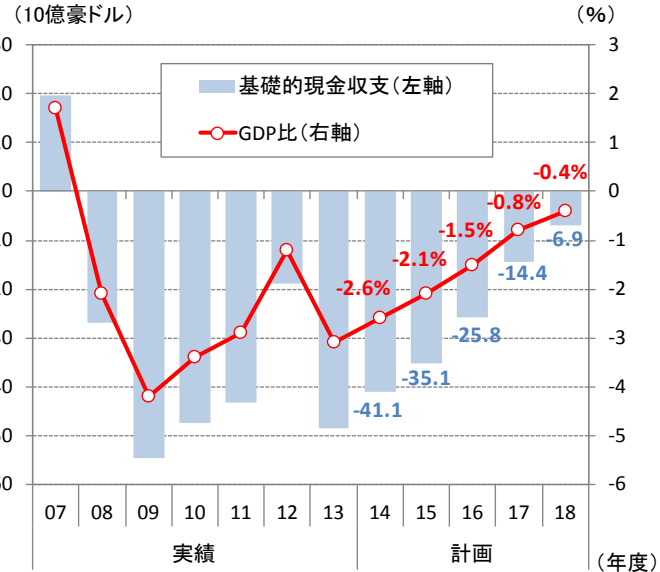
### 政府は中長期的な財政黒字化の方針を維持

鉄鉱石価格下落や景気低迷による税収減もあり、2015年度の財政収支の計画は-351億豪ドルと、前年度予算案での想定(-171億豪ドル)よりも赤字が拡大する結果となりました(図1)。ただし、2015年度の財政赤字は市場予想の400億豪ドルは下回ったほか、2016年度以降は財政赤字の縮小が計画されています。財政収支は2019年度にも黒字化となる計画で、政府は中長期的な財政黒字化の方針を維持しています。

### 豪州国債のAAA格付は維持される公算が高い

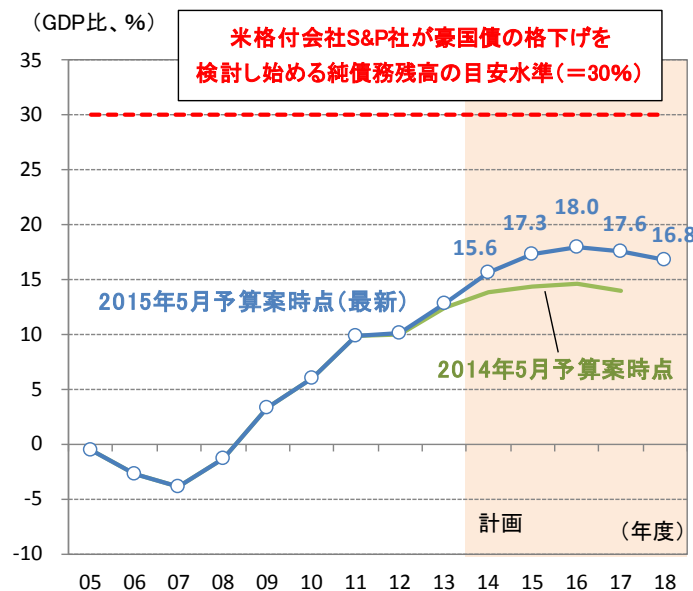
また、純債務残高は2016年度にはGDP比18.0%へ緩やかな拡大が計画されているものの、米格付会社S&P社が格下げを検討し始める水準とされるGDP比30%の水準は十分下回っています(図2)。S&P社は「2015年度予算案は豪州国債の格付に直ちに影響するものではない」とコメントしており、豪州国債のAAA格付は当面維持される公算が高いと考えられます。

### 図1: 豪州の一般政府財政収支



(出所) 豪財務省 (期間) 2007年度～2018年度  
(注) 年度は各年7月～翌年6月。

### 図2: 豪州の一般政府純債務残高(GDP比)



(出所) 豪財務省 (期間) 2005年度～2018年度  
(注) 年度は各年7月～翌年6月。